


[様式 2 (汚染水処理対策委員会に報告し、一般公開となるものです)]

御提案書															
技術分野	① 1 - (2)														
御提案件名	大量の汚染水を固化することで長期安定的に貯蔵する方法														
御提案者	電気化学工業株式会社														
<p>1. 技術等の特徴 (特徴、仕様、性能、保有者など)</p> <p>『デンカコンファイン W』は、<u>大量の放射能汚染水を少量の材料で固化可能であることにより固化することで放射能汚染水の漏出事故の根絶できると考えます。</u></p> <p>『デンカコンファイン W』は、無機系鉱物で構成されている材料であり、エトリンガイト ($3\text{CaO} \cdot \text{Al}_2\text{O}_3 \cdot 3\text{CaSO}_4 \cdot 32\text{H}_2\text{O}$) を大量に生成させることにより、放射能汚染水を結晶水中に多く取り込みます。</p> <p>『デンカコンファイン W』を表-1 の配合で練り混ぜたスラリーをボルト締めタンクに入れて固化させて保管する。</p> <p>固化させることで、トラブルによる漏水事故を防止でき、ボルト締めタンク内で固化し貯蔵することで、溶接タンクの作り変え・ボルト締めタンクの撤去・保管の必要がなくなります。</p> <p>仕様/性能</p> <p>1000ℓの汚染水を固化すれば 1057ℓ硬化体となります。</p> <p>表-1 コンファイン W の性能 (kg/m^3)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>目標強度</th> <th>W/コンファイン W</th> <th>水</th> <th>コンファイン W</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>0.2N/mm²</td> <td>631</td> <td>946</td> <td>150</td> </tr> </tbody> </table>  <p>計量 練混ぜ 練混ぜ後 硬化</p> <p>水：473g コンファイン W：75g</p> <p>表-2 ブリーディング量</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>試験方法</th> <th>コンファイン W</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ブリーディング量</td> <td>JIS A 1123</td> <td>0cm³/cm²</td> </tr> </tbody> </table> <p>保有者：電気化学工業株式会社</p>		目標強度	W/コンファイン W	水	コンファイン W	0.2N/mm ²	631	946	150		試験方法	コンファイン W	ブリーディング量	JIS A 1123	0cm ³ /cm ²
目標強度	W/コンファイン W	水	コンファイン W												
0.2N/mm ²	631	946	150												
	試験方法	コンファイン W													
ブリーディング量	JIS A 1123	0cm ³ /cm ²													
<p>2. 備考 (以下の点など、可能な範囲でご記入頂けますようお願いいたします)</p> <ul style="list-style-type: none"> 開発・実用化の状況 (国内外の現場や他産業での実績例、実用化見込み時期も含む) 1994年から上市。実績多数。 薬液注入工法 (二重管ダブルパッカー工法) 用シールグラウト材、1次注入材料として実績多数 開発・実用化に向けた課題・留意点 材料的には開発完了 連続練混ぜ方式、ボルト締めタンクへの輸送方法の確立を目指す。(2013年度中) その他 (特許等を保有している場合の参照情報等) 特許 3451101 															